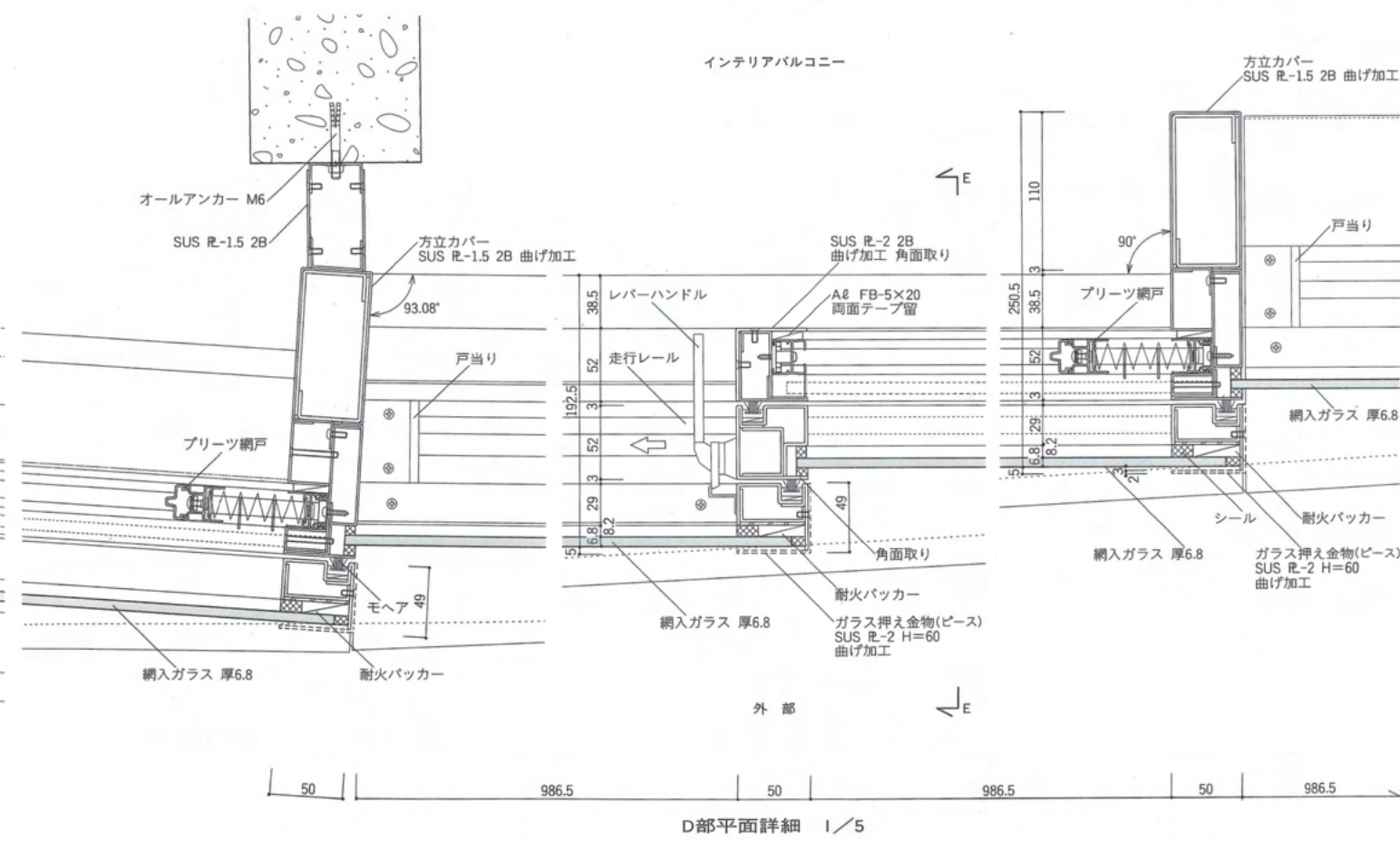
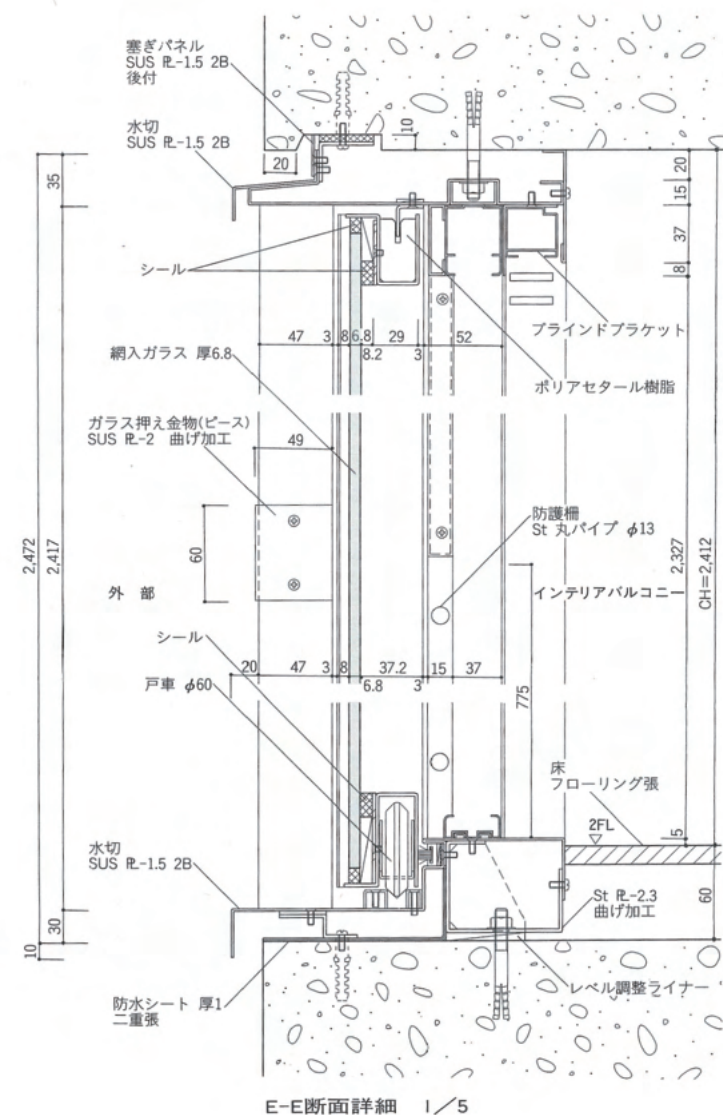
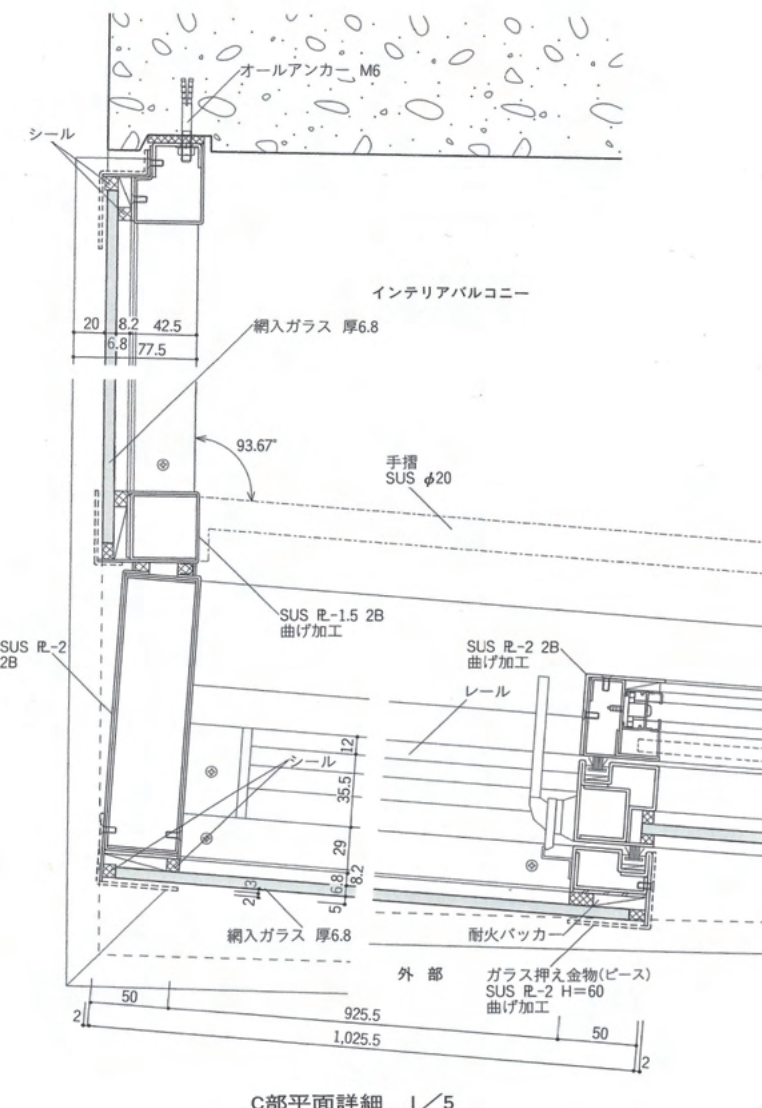
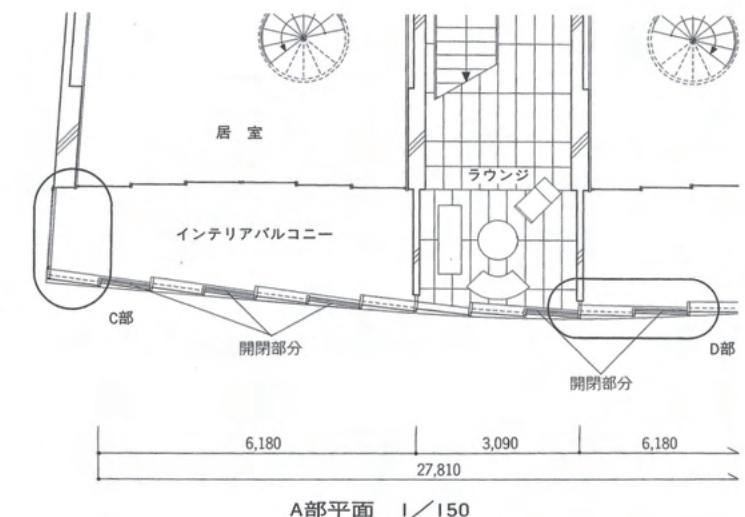
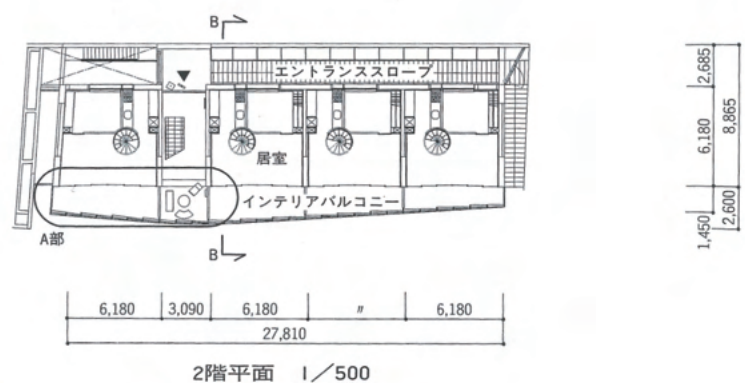
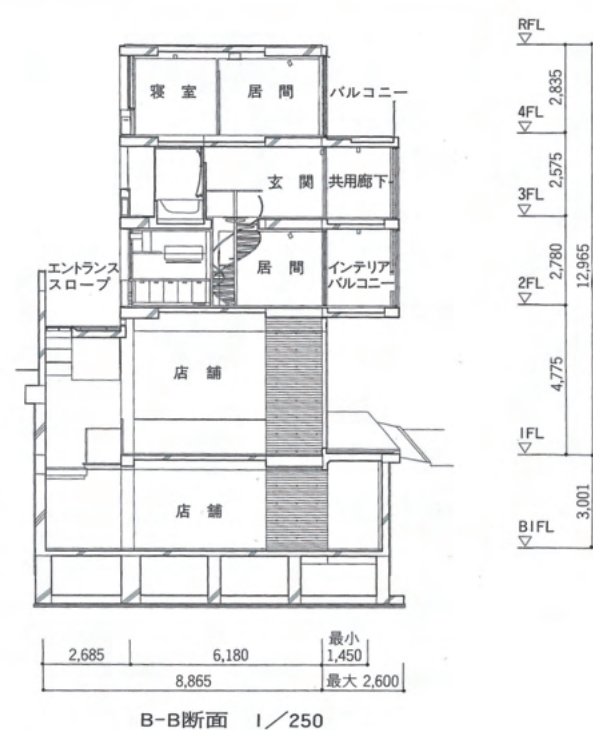


# ガラスの折り紙

IL TEMPO 矢板久明建築設計研究所  
 構造設計/構造設計社 施工/池田建設, サッシュ製作/田島メタルワーク 主要用途/店舗, 共同住宅 構造・規模/RC造・地下1階, 地上4階 所在/東京都渋谷区  
 撮影/平井広行



湾曲した坂道という地形をそのまま建築として立ち上げ、住居を空中に浮かべた都市型複合施設である。立体住居の積層によって生まれた共用廊下とインテリアバルコニーという始まりと終わりの二重性を、同一のファサードで表現することで多義性を纏う。さらにこのファサードは、坂の下からアプローチすると湾曲する1枚の面として都市に呼応し、坂の上からは小刻みに雁行する壁として視覚を運動する。一見、点支持のカーテンウォールと見せつつ実は引戸の連続である特異な窓は、通風・眺望・安全といった諸機能を最小限の見込みの中に納めたステンレスサッシュでつくり込まれ、エッジを極小のシリコンジョイントとすることで折り紙のような動くガラスの連続体を形成している。地形を建築の力へと最大化することで誕生したこの「非連続な連続」は、作者の現代建築への並々な眼識と力量を示す。



# ディテール

季刊-秋季号  
DETAIL 170  
建築の詳細  
2006-OCTOBER

特集 **かたちのあり方** — 多様な局面をもつ建築表現を探る

好評により隔号連載にて再登場 **転用のディテール**